



# 東大阪消防広報

2020年(令和2年)  
No.104

「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」(2019年度全国統一防火標語)

発行所  
東大阪市消防局  
東大阪市稲葉  
1-1-9  
TEL072(966)9663  
FAX072(966)9669

## こんな利用方法は **ダメ!**

【優先的に診察してもらうために救急車で病院に行く】  
「早く診てもらえる」と誤解している人が多いですが、救急車で病院に行っても、優先的に診察してもらえるわけではありません。病院に着いてから医師が緊急性の有無を判断します。



【救急車をタクシー代わりに使う】

緊急性もなくただ病院に行くためや、普段の通院目的でタクシー代わりに救急車を呼ぶ人がまだまだいます。市内には11隊の救急隊しかいません。本当に必要なときに救急車が出動できなくなります。



## ちよつと待って!!

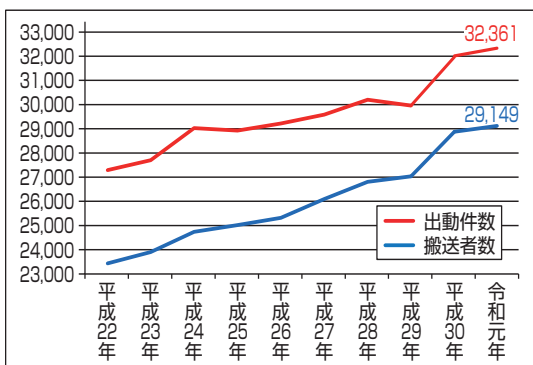
### その119番、本当に必要ですか？

不要な「119番」のために救急車が出動し、消防署に救急車がありません。本当に必要な方のために、もう一度利用方法について考えてください。



一刻を争う命があります

出動件数・搬送者数の推移



不要不急の救急要請を控えるだけが適正利用

呼ばないだけが適正利用じゃない!

「ラグビーのまち東大阪」の救急は、T R Y を合言葉に救命率向上のため救急車の適正利用を呼びかけています。

合言葉は T R Y!  
①適正 ②利用 ③やるうよ!

市内では11隊の救急車が待機し、現場から最も近い救急車が出動します。緊急性のない救急要請が増えると、生命に危険がある傷病者を待たせてしまい救える命が救えなくなってしまう可能性があります。尊い命を救うために、救急車の適正利用に理解と協力をお願いします。

救急車は、急病人や負傷者などを緊急に病院に搬送するためのものです。市内では11隊の救急車が待機し、現場から最も近い救急車が出動します。緊急性のない救急要請が増えると、生命に危険がある傷病者を待たせてしまい救える命が救えなくなってしまう可能性があります。尊い命を救うために、救急車の適正利用に理解と協力をお願いします。

用ではありません。緊急の症状を見逃さず、すぐに救急車を呼ぶことも大切な適正利用です。「多量の出血がある」「呼吸や意識状態が悪い」「急に激しい頭痛が始まった」「急にろれつが回らなくなった」などの症状は、すぐに119番通報をしてください。

救急車を呼ぶべきか迷ったときは

24時間 365日対応

救急安心センターおおさか

必ず今すぐ 高松と 高野

**#7119**

または 06-6582-7119

※緊急のときは迷わず119番をお願いします。

### 問警備課

救急車を呼ぶべきか迷ったときは、救急安心センターおおさかをご利用ください(左画像)。

病気やケガの緊急性に関する相談と症状に応じた救急病院の案内を行っています。緊急性が高いと判断したときは、消防局につないで救急車を出動させます。

迷ったときは #7119 または 06(6582)7119

## 高齢者を火災から守るために

### ホームヘルパーなどを対象 火災予防講習を開催



市消防局では、このほどホームヘルパーやケアマネージャーを対象とした火災予防講習を開催しました(左写真)。

高齢者宅の火災を防ぐためには、火災を発生させない環境づくりが大事です。そこで、実際に高齢者宅を訪問する方に家庭内で発生しやすい火災事例やその対策について講習の参加者からは、「高齢者宅を訪問する際の注意点がわかった」「高齢者を守る方法も学べた」など前向きな感想が聞かれました。

家庭での火災予防のポイントについて、詳しくは2・3面をご覧ください。

火災予防広報課



住宅火災の様子